

令和 2 年 第 2 回  
富 山 県 教 育 委 員 会 会 議 録

I 開会及び閉会の日時

令和2年2月12日(水)

開会午後1時00分、閉会午後2時30分

II 場所

教育委員会室

III 出席委員

1番	鳥海 清司	2番	村上 美也子	3番	山崎 弘一
4番	藤重 佳代子	5番	町野 利道	教育長	伍嶋 二美男

IV 説明出席者

教育次長	布野 浩久	教育次長	坪池 宏
教育企画課長	広沢 久也	生涯学習・文化財室長	菊池 政則
教職員課長	坂林 根則	県立学校課長	本江 孝一
小中学校課長	近藤 智久	保健体育課長	東瀬 義人

V 傍聴人数 0人

VI 会議の要旨

午後1時00分、伍嶋教育長が開会を宣する。

1 報告事項

SNSを活用したいじめ相談状況とその効果等について  
小中学校課長から説明した。

2 その他

今後の教育委員会等の日程について  
教育企画課主幹から説明した。

3 議決事項

午後1時18分、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書の規定に基づき、議案第4号及び議案第5号については、委員全員の同意により会議を非公開とすることを可決し、議事の審議に入った。

議案第4号 令和2年2月富山県議会定例会に付議する事案に対する意見に関する件

議案第5号 審査請求に係る決定に関する件

4 議事

○報告事項について

〔村上委員〕

・相談窓口の時間帯の18時から21時という時間をもう少し遅い時間にすることはできないのか。また1件当たりの時間はどのくらいか。

〔小中学校課長〕

・18時から21時の設定については、例えば、高等学校PTA联合会の方でイレブン・セブン運動をおこなっており、夜11時から翌朝7時まではSNS等を活用しないように家庭でも利用の仕方について考えているという運動をしている。こういった背景もあり、この時間設定については、学校側や保護者の方とも相談しながら設定したところである。1件あたりの相談時間については、カウンセラー担当者に聞いたところ、長いものになると1時間から2時間ほどやりとりが続いているものもあったと聞いている。

〔山崎委員〕

- ・事業のねらいのところに、「やりとりを通して、悩みの解決や、電話や面談による相談につなげる」とあるが、SNS を活用した話のやり取りが、実際に電話や面談による相談につながったケースはあるのか。

〔小中学校課長〕

- ・資料中の3の(1)に示してあるように、2年間のモデル事業の中ではなかった。

〔山崎委員〕

- ・事業の中でやろうとしていることは、考えとしては非常にいいと思うが、本当に効果があるのだろうか。また、国の委託事業として、ごく一部の高校4校、中学4校を対象に行っているが、仮にそれなりに効果があるものとした場合、今後さらに他の学校に広げていくということは考えているのか。

〔小中学校課長〕

- ・これについては他県の状況も、もう少し調査研究しないといけないが、全生徒に広げていくとなると、予算が非常にかかることになるので、それについては慎重に検討していかなければならないと思う。ただ、この2年間のモデル事業で、電話での対応やメールでも相談を受け付けており、その中での相談者のやりとりで参考になることや課題も見えてきたので、そういったところを活かしながら、相談体制の充実に活かしていきたいと考えている。

〔山崎委員〕

- ・相談件数の問題を前提として話をしたが、一方、たとえ一部であっても、他の方法では相談することができない子ども達がこの事業を通して相談することができることについては、意味があると思っている。

〔藤重委員〕

- ・事業の2年度とも6月、7月から5カ月間の実施ということになっているが、この期間設定には何か意味があるのか。

〔小中学校課長〕

- ・事務手続き的なこともさることながら、学期末と学期始まりの時期であり、このあたりが子ども達の悩みや様々な問題が起きてくる可能性のある時期だろうということで、この期間を設定したものである。

〔鳥海委員〕

- ・これらのモデルになっている学校で、SNS を活用せずに直接相談に行ったとか、非常に大きい問題が起きたことはなかったのか。

〔小中学校課長〕

- ・それぞれの学校の相談件数や詳細を把握していないが、モデル校については大きい問題は起きなかった。

〔鳥海委員〕

- ・先ほど山崎委員の方から効果についての話があったが、SNS で相談しているから大きなことにはつながらなかったという見方もできると思うので、そういうところも後々のことを考えることに役立つと思う。

〔藤重委員〕

- ・先ほど課題が見えてきたという話があったが、どのような課題が見えてきたのか。

〔小中学校課長〕

- ・子ども達が自分の所属などを明らかにせずにやりとりをしていく中で、実際の対面相談や電話相談につなげようとする、居住地がどの辺なのか、何学年なのか、そういった情報を引き出すまでに配慮を要しながら、非常に時間をかけて丁寧にやらないと途切れてしまうという知見が得られた。これは、電話相談でもかなり匿名なものもあり、メール相談でも性別もわからないものもあったので、そういった時の応答の仕方について、これから先に進めていく中で非常に参考になるものがあったということである。

午後2時30分、議事が終了したので教育長が閉会を宣した。